

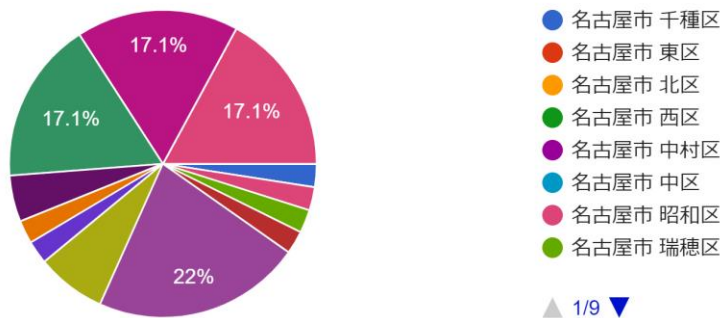
研修アンケート

あいち全国研プロジェクトアンケート調査結果 2022.12.31

お住まいの地域（指導員さんは勤務先）を教えてください

お住まいの地域（指導員さんは勤務先）を教えてください。

41件の回答

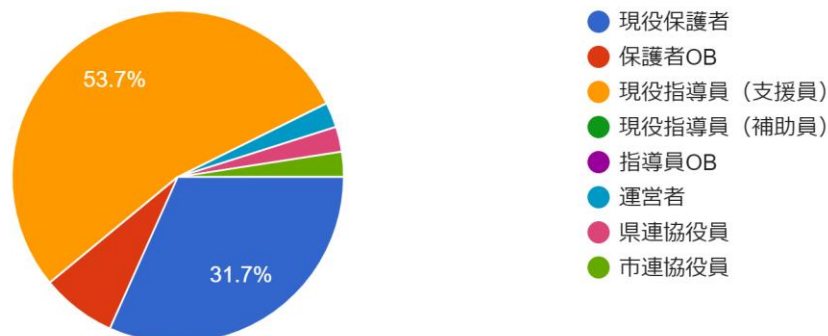


名古屋市港区	9 (22%)	名古屋市昭和区	1
岡崎市	7 (17.1%)	名古屋市瑞穂区	1
大府市	7 (17.1%)	名古屋市千種区	1
豊川市	7 (17.1%)	名古屋市熱田区	1
名古屋市守山区	3	名古屋市名東区	1
豊橋市	2	名古屋市緑区	1

お立場を教えてください。

お立場を教えてください。下記より最も当てはまるものを選んでください。

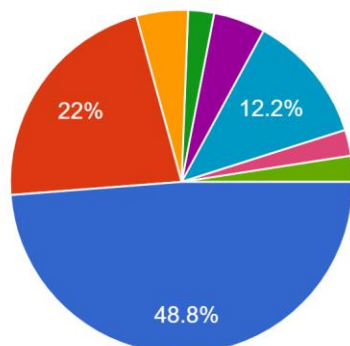
41件の回答



次の研修を受講していますか？

あいち学童保育研究集会に参加したことがありますか？

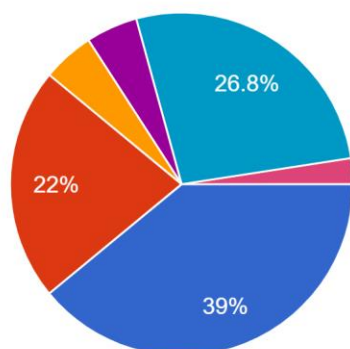
41 件の回答



- 毎年参加する
- 参加したことがない
- そのような研修を知らない
- 受講したい分科会がある場合のみ参加している
- 学童保育所より、必ず参加するように言われている
- できるだけ参加するように心がけている
- 市連協役員の為
- 参加した事がある

全国学童保育研究集会に参加したことがありますか？

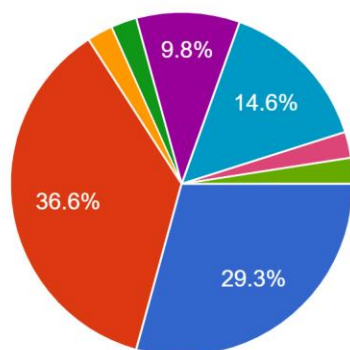
41 件の回答



- 毎年参加する
- 参加したことがない
- そのような研修を知らない
- 受講したい分科会がある場合のみ参加している
- 学童保育所より、必ず参加するように言われている
- できるだけ参加するように心がけている
- 参加したことがある。

全国学童保育指導員学校に参加したことがありますか？

41 件の回答

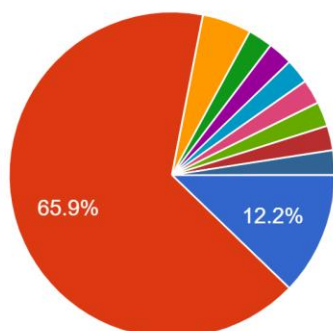


- 毎年参加する
- 参加したことがない
- そのような研修を知らない
- 受講したい講座がある場合のみ参加している
- 学童保育所より、必ず参加するように言われている
- できるだけ参加するように心がけている
- 指導員ではないので参加しない（でき...
- 役割がある等により参加

研修日についてお伺いします

研修にかかる、参加費はどのように支払われますか？

41 件の回答

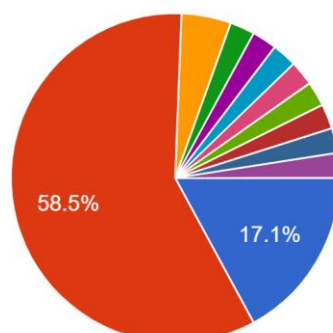


- 全額 参加者本人負担
- 全額 学童保育所負担 (学童保育所運...)
- 全額 地域連協もしくは地域の活動団...
- 現役の時は、学童負担だった時もある...
- 連協の予算範囲で補助、支援員さんは...
- わかりません
- 把握していない。
- 分からない

▲ 1/2 ▼

交通費にかかる、参加費はどのように支払われますか？

41 件の回答

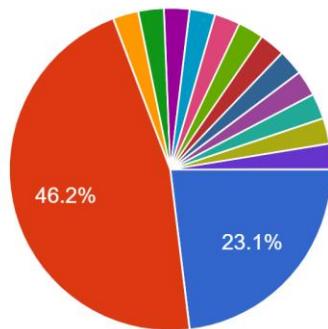


- 全額 参加者本人負担
- 全額 学童保育所負担 (学童保育所運...)
- 全額 地域連協もしくは地域の活動団...
- 全国研の場合、半額は自己負担
- 連協の予算範囲で補助、支援員さんは...
- わかりません
- 把握していない。
- わからない

▲ 1/2 ▼

宿泊費にかかる、参加費はどのように支払われますか？

39 件の回答

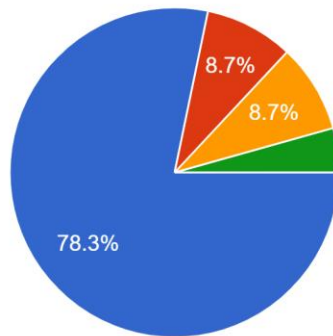


- 全額 参加者本人負担
- 全額 学童保育所負担 (学童保育所運...
- 全額 地域連協もしくは地域の活動団...
- 宿泊はした事がない
- 宿泊を伴う研修には参加していない
- 各学童から限度額内で補助
- わかりません
- 把握していない。

▲ 1/2 ▼

指導員さんのお聞きします。研修に参加した場合は、勤務扱いになりますか？

23 件の回答



- 勤務扱いになる
- 勤務扱いにはならないが、研修参加としての報酬が出される
- 勤務扱いにもならないし、別途手当もつかない
- わからない

研修についてご意見をお聞かせください。

研修に参加しづらいと感じていることはありますか？

回答内容	学童保育指導員 22 人	現役保護者・保護者 OB・運営者 19 人
勤務体制に関すること (休みがとれない)	4 件	1 件
子育てをされていて難しい (家庭の都合)	3 件	1 件
費用負担		3 件
オンラインで参加しやすい		2 件
現役の時は子どもをどうするか迷った		1 件
子どもが家にいて集中できない		1 件
参加人数の目標をたてるのは賛成できない		1 件

無理に参加するのはよくない		1件
知識や経験が全くないので、気後れしてしまう		1件
自分の仕事の研修がある		1件
意義づけが理解できていないのでは		1件

研修として参加する場合に、「こんな形なら参加しやすい」と思うことはありますか？

回答内容	学童保育指導員 22人	現役保護者・保護者 OB・運営者 19人
現状のやり方でよい（オンライン開催）	5件	5件
時間短縮	2件	1件
土曜日開催	2件	
開催日の翌日が祝日や祭日であってほしい	1件	
平日開催（平日夜間も含む）	2件	1件
子育て中で参加できるかわからない	1件	
子どもだけの交流会 遊び、座学、自然体験など あると 保護者も参加しやすい	1件	
交流が苦手なので講義のみの研修が増えてほしい	1件	
土曜日夜開催		1件
日曜日午前のみ開催		1件
県内なら名古屋開催希望		1件
無料開催		1件
後日オンデマンド配信（事前冊子配布込みで・ 動画資料配付の研修でもよい）		2件

今後の研修で学びたいことのテーマなどあれば、教えてください。

回答内容	学童保育指導員 22人	現役保護者・保護者 OB・運営者 19人
応急処置	1件	
支援級やしょうがいのある子どもの、集団生活における理解（しょうがいに関するもの）	2件	
指導員の仕事内容（どこまで指導員がするのか、他に役職を作ってやれないかなど）	1件	

子どもたちの学童保育でのより良い生活について	1 件	
高学年女子との関わり	2 件	
班活動の必要性について	1 件	
指導員の育成	1 件	
指導員としての資質向上につながる内容（保育実践や検討）		1 件
長く続くコロナ禍で、低学年の保護者に学童の運営や行事などを上手く引き継ぐことができない。改めて学童の良さや大切さを学べる機会があるとよい		1 件
保護者会運営について		1 件
連協や学童運営に携わる上で必要な知識・歴史を初心者でも分かりやすく理解できるような内容の講座		1 件
子ども同士の間関係のつくり方		1 件
子どもと大人との関係		1 件
緊急時の学童と父母との連絡方法や対応		1 件
保護者の負担軽減		1 件

全国研の情報は、主にどこから得られますか？

回答内容	学童保育指導員 22 人	現役保護者・保護者 OB・運営者 19 人
市・区連協（地域連協）	4 件	7 件
県連協	3 件	2 件
Facebook、Instagram、LineOpenChat など SNS		3 件
学童保育の担当者から	3 件	2 件
ほいく誌	1 件	1 件
チラシ	1 件	
ホームページ	1 件	
全国研 PT に所属している	1 件	

研修に関するアンケートを実施、41件の回答だった。回答数としては非常に少なく呼びかけ方法に問題があったと思われる。研修参加に関しても、なかなかクラブまで情報がおりてくるまでに時間がかかることなどもあり、SNSの活用をすすめている地域も今回のアンケート集約の中でみられる。指導員の研修参加の必要性については、運営指針にも明記されており、補助金の中に研修費も含まれて算出されている。今回の調査で、研修費、交通費は6割のクラブで全額負担ではあるものの、研修にかかる費用が本人負担であるクラブも多くあり、費用負担に関する事が理由で参加がすまないという声もあがっている。保護者の参加に関しては、子育て真っ最中であれば、オンラインであったとしても、参加はしやすくはなった反面、家庭での研修ともなり研修そのものに集中ができないなどのデメリットも含まれることがわかった。オンライン開催がすすみ、全体的にオンライン開催を望む声が多くなってきている。そこから派生して、時間を短くしてほしいという声や、後日配信を選べる形式での参加ができないかなど、オンラインならではの声をあがってきている。その日、その時間でなくても、自分のタイミングに合わせての受講スタイルという形式も今後検討していく必要があるのではないかな。

研修内容については、様々な御意見があり、指導員からの希望は全体的に全国研や指導員学校でもテーマにあげられている項目も多くあがっている。保護者会については、運営に関する全体的な悩みを抱えている保護者も多く、基本的な運営に関する知識を学べる機会を求めている印象がある。あいちの研究集会ではこのようなテーマをあげて分科会を今回とりあげられているため、多くの参加者があつまるとよいのではないかな。

全国研に関してのお知らせは、主に市連協や地域連協、県連協や全国研ニュースによりお知らせを受け取られていることがわかったが、資料としてただ回すだけではなく、資料にくわえて丁寧な説明を加えることで、より認知度があがることも想定される。今回の研修のアンケートに関しても、地域差が非常にある。お知らせが現場まで行き届いているかという点が、研修参加にも大きな影響があるのではないかなと思われる。まずは、指導員の「研修」の位置づけが、しっかりと勤務として認められ、保障される必要性があります。さらに、研修に是非参加してほしいと保護者からもすすめられる環境であることが重要です。研究集会については指導員に限らず、保護者も共に学びあえるような雰囲気作りが必要であり、そのためにも引き続きの情報発信のありかた、伝達方法の工夫などが今後の課題として検討していきたい。